

# 2019 夏休みおすすめ本

## 5・6年生

### 『シャーロットのおくりもの』 933ホ

E.B.ホワイト/作 ガース・ウィリアムズ/絵 さくま ゆみこ/訳  
あすなろ書房

ファーンが育てた、ふたのウイルバーは、大きくなって近くの農場のうじょうに売られます。そこには、ガチョウやネズミたちもいます。そして、そこでウイルバーとくものシャーロットが会います。クリスマスに食べられそうなウイルバーを助けるため、シャーロットはゆかいな作戦を考えます。

### 『キバラカと魔法の馬』(アフリカのふしぎばなし) 1B994キ

さくま ゆみこ/編訳 岩波書店

あるとき、キバラカという男が荒野を歩いていると、突然、魔神にさらわれ、城に閉じこめられます。そして、魔神から留守番をたのまれますが、「どの部屋をあけて見てもいいが、地下室だけは、あけてはならぬぞ。」と言われます。キバラカは、さっそくそれぞれの部屋を見て歩きますが……。表題の話「キバラカと魔法の馬」の他、アフリカのふしぎなお話が13編入っています。

### 『図書室のふしぎな出会い』 913コ

小原 麻由美/作 こぐれ けんじろう/絵 文研出版

夏休みだというのに、足を捻挫して大好きなサッカーの練習が出来なくなった小6のまさる勝。

もう少しで、小学校最後の県大会も始まるのに、まだ練習には復帰できそうもなく、ひまになったので司書の先生に頼まれた書庫の整理を手伝うことにした。

そして、地下倉庫でふしぎな少女と出会う…。

### 『八月の髪かざり』 913ナ

那須 正幹/作 片岡 まみこ/絵 佼成出版社

1945年8月6日、広島は焼け野原となりました。その日の朝、「いってまいります」と出かけたきり今も帰ってこないキヨ姉ちゃん。あの日、なにがおこったのか。

大人になった妹の久江さんは、姉の人形をつくりながら忘れることのできない戦争の日々を思い返します。

### 『6この点』 5Eロ

ジェン・ブライアント/文 ボリス・クリコフ/絵 日当 陽子/訳 岩崎書店

世界中で目の見えない人達を使う文字「点字」てんじ。その点字を発明した人を知っていますか？フランス人のルイ・ブライコは、5歳のとき失明し、15歳で文字を書く方法を発明しました。6個の点を、指でさわって読む、まったく新しい文字を読む方法。それが「点字」だったので。

### 『わたしの苦手なあの子』 913ア

朝比奈 蓉子/作 ポプラ社

リサはだれにでも不愛想な転校生。ある日、プールを気にするリサに、ミヒロが話しかけると「自分がプールを一往復泳ぐあいだ、誰もこないように見張りをして」とたのまれます。きまりをやぶったりできない性格のミヒロですが、リサとなかよくなりたいたいと思いつく約束をします。

でも、リサって心臓が悪くて泳げないんじゃない？ミヒロはリサのひみつを知ってしまいます。

### 『唐木田さんち物語』 913イ

いとう みく/作 毎日新聞出版

唐木田家は8人兄弟。小学5年生の志朗しろうは、お父さん、お母さん、お姉ちゃん2人、お兄ちゃん3人、それから妹と弟の10人家族。周りからはめずらしがられるし、めんどろなことも多いし、大家族なんてなりたくなかったのに…。そんなある日、長女・いち姉の結婚話が出たかと思えば、とつぜん新しい弟がやって来て！？